



## 2020年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

2020年5月15日

上場会社名 北海道中央バス株式会社  
 コード番号 9085 URL <https://www.chuo-bus.co.jp/>

上場取引所 札

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 二階堂 恭仁

問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員 (氏名) 大森 正昭

TEL 0134-24-1111

定時株主総会開催予定日 2020年6月26日

配当支払開始予定日

2020年6月29日

有価証券報告書提出予定日 2020年6月30日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期の連結業績(2019年4月1日～2020年3月31日)

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	38,094	1.7	1,044	2.2	1,215	1.6	220	39.1
2019年3月期	38,771	1.3	1,021	27.8	1,196	24.3	158	82.4

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年3月期	84.08		0.7	2.9	2.7
2019年3月期	60.43		0.5	2.9	2.6

(参考) 持分法投資損益 2020年3月期 21百万円 2019年3月期 20百万円

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期	41,365	31,061	74.1	11,716.59
2019年3月期	41,135	30,443	73.1	11,489.80

(参考) 自己資本 2020年3月期 30,667百万円 2019年3月期 30,075百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年3月期	3,628	2,184	146	9,678
2019年3月期	2,354	2,274	176	8,381

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年3月期				50.00	50.00	144	82.7	0.4
2020年3月期				50.00	50.00	144	59.5	0.4
2021年3月期(予想)								

(注)2021年3月期の配当予想については、現時点では業績予想の算定が困難であることから未定としております。今後、配当予想が可能になった段階で速やかに公表いたします。

### 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

2021年3月期の連結業績予想については、現時点では新型コロナウイルス感染症拡大による業績への影響を適正かつ合理的に算定することが困難であることから、未定としております。今後、業績予想の算定が可能になった段階で速やかに公表いたします。

注記事項

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
 新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
 以外の会計方針の変更 : 無  
 会計上の見積りの変更 : 無  
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期	3,146,000 株	2019年3月期	3,146,000 株
期末自己株式数	2020年3月期	528,549 株	2019年3月期	528,399 株
期中平均株式数	2020年3月期	2,617,536 株	2019年3月期	2,617,784 株

(参考)個別業績の概要

2020年3月期の個別業績(2019年4月1日～2020年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	22,215	0.6	465	17.5	923	16.0	1	99.5
2019年3月期	22,352	0.7	564	19.1	1,099	9.0	272	64.0

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期	0.45	
2019年3月期	93.89	

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期	32,792	24,445	74.5	8,432.54
2019年3月期	32,256	24,186	75.0	8,342.70

(参考) 自己資本 2020年3月期 24,445百万円 2019年3月期 24,186百万円

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

2021年3月期の連結業績予想については、現時点では新型コロナウイルス感染症拡大による業績への影響を適正かつ合理的に算定することが困難であることから、未定としております。今後、業績予想の算定が可能になった段階で速やかに公表いたします。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(セグメント情報)	12
(1株当たり情報)	14
(重要な後発事象)	14

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が続く中で緩やかな回復基調が続いたものの、米中の貿易摩擦の影響に加え、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大の影響により、先行きは極めて厳しい状況となりました。道内の経済においても、公共投資や民間設備投資の増加もあり、緩やかに回復していましたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により景気は下押しされており、個人消費の冷え込みや観光需要の悪化など、今後の動向には十分注視する必要があります。

このような経営環境の中、当社グループは、地域社会に密着した事業を積極的に展開するとともに、経営効率を高め収支改善や経営体質の強化など、企業価値の向上に取り組んでまいりましたが、旅客自動車運送事業、観光事業において新型コロナウイルス感染症拡大の影響を大きく受けました。

当連結会計年度の業績は、売上高は38,094百万円（前連結会計年度比1.7%減）、営業利益は1,044百万円（同2.2%増）、経常利益は1,215百万円（同1.6%増）、投資有価証券評価損を計上したことなどにより、親会社株主に帰属する当期純利益は、220百万円（同39.1%増）となりました。

事業別の経営成績は、次のとおりであります。

#### ① 旅客自動車運送事業

乗合運送事業は、新千歳空港連絡バスにおいて、国内外の利用客の増加に対応するため、札幌都心とを結ぶ便数を増やすとともに、2019年4月に運賃改定を実施しました。また、主要バスターミナル施設に無料Wi-Fiを設置したほか、前連結会計年度に引き続き多言語対応のバスロケーションシステムを、札幌市内全域の路線バスや高速バスに導入を拡大するなど、サービスの向上を図りました。さらに、2018年9月に発生した北海道胆振東部地震の影響による減収からの回復や、2020年4月から実施する運賃改定に伴う乗車券の駆け込み事前購入などもあり、増収傾向で推移していました。しかし、2020年2月以降の新型コロナウイルス感染症拡大に伴う国内外の移動制限や国内における外出自粛要請の影響により利用客が減少し、乗合運送事業は減収となりました。

貸切運送事業は、受注の減少に加え、新型コロナウイルス感染症拡大の影響によるキャンセルがあり、減収となりました。

この結果、売上高は21,525百万円（前連結会計年度比0.7%減）、営業利益は302百万円（同12.2%減）となりました。

#### ② 建設業

建設業は、受注競争が激化する中、受注高、完成工事高とも減少しました。

この結果、売上高は10,307百万円（前連結会計年度比4.2%減）、原価管理の徹底による工事原価の圧縮により営業利益は317百万円（同51.0%増）となりました。

#### ③ 清掃業・警備業

清掃業・警備業は、新規物件を受注したことなどにより増収となりました。

この結果、売上高は3,117百万円（前連結会計年度比5.0%増）、営業利益は150百万円（同33.7%増）となりました。

#### ④ 不動産事業

不動産事業は、仲介収入の減少などにより減収となりました。

この結果、売上高は790百万円（前連結会計年度比1.5%減）、営業利益は350百万円（同8.8%減）となりました。

#### ⑤ 観光事業

ニセコアンヌプリ国際スキー場は、山麓部の初心者向けリフトの利用が好調でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により利用客が大きく減少し、減収となりました。

小樽天狗山スキー場は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けましたが、北海道胆振東部地震の影響からの回復や、2020年1月まで外国人観光客の利用が好調だったことにより、増収となりました。

ニセコ温泉郷「いこいの湯宿いろは」は、集客が順調に推移していましたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により予約のキャンセルが相次ぎ、減収となりました。

道央自動車道に直結した観光施設の砂川ハイウェイオアシス館は、北海道胆振東部地震の影響からの回復のほか、イベントを開催するなど集客は順調に推移していましたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により利用客が減少し、減収となりました。

この結果、売上高は1,826百万円（前連結会計年度比1.9%減）、76百万円の営業損失（前連結会計年度は71百万円の営業損失）となりました。

## ⑥ その他の事業

自動車教習所は、主力の普通車をはじめ入校生が増加しました。旅行業は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、ツアーの催行中止や団体旅行のキャンセルが相次ぎ、売上げが減少しました。

この結果、売上高は3,722百万円（前連結会計年度比5.0%減）、営業利益は34百万円（同29.5%減）となりました。

（当社グループにおける売上高の季節的変動について）

観光事業は、スキー場営業期間の関係で、第4四半期の売上高が他の四半期に比べて高くなる季節的変動があります。

## (2) 当期の財政状態の概況

## (資産)

資産合計は41,365百万円（前連結会計年度比0.6%増）となりました。これは、現金及び預金が746百万円、投資有価証券が471百万円それぞれ増加したこと、有形固定資産の合計が485百万円減少したこと等によるものです。

## (負債)

負債合計は10,304百万円（前連結会計年度比3.6%減）となりました。これは、設備関係支払手形が446百万円、流動負債のその他が415百万円それぞれ減少したこと、支払手形及び買掛金が320百万円増加したこと等によるものであります。

## (純資産)

純資産合計は31,061百万円（前連結会計年度比2.0%増）となりました。これは、その他有価証券評価差額金が389百万円増加したこと等によるものであります。

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末から1,296百万円増加し、9,678百万円（前連結会計年度比15.5%増）となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況は、次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

税金等調整前当期純利益632百万円に減価償却費等を加減した結果、得られた資金は3,628百万円（前連結会計年度比54.1%増）となりました。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

有形固定資産の取得による支出が2,568百万円あったこと等により、使用した資金は2,184百万円（前連結会計年度比3.9%減）となりました。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

配当金の支払額が144百万円あったこと等により、使用した資金は146百万円（前連結会計年度比16.7%減）となりました。

## (4) 今後の見通し

2021年3月期の連結業績予想については、現時点では新型コロナウイルス感染症拡大による業績への影響を適正かつ合理的に算定することが困難であることから、未定としております。今後、業績予想の算定が可能になった段階で速やかに公表いたします。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループの利害関係者の多くは、国内の株主、債権者、取引先等であり、国内の同業他社との比較可能性を確保するため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

なお、国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,237,655	6,984,519
受取手形及び売掛金	4,129,475	3,749,044
有価証券	3,000,000	3,200,000
商品	31,111	34,972
原材料及び貯蔵品	176,443	158,675
未成工事支出金	15,119	21,685
その他	514,939	465,034
貸倒引当金	△4,021	△10,280
流動資産合計	14,100,723	14,603,652
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	20,709,568	20,423,484
減価償却累計額	△15,564,215	△15,635,439
建物及び構築物 (純額)	5,145,353	4,788,044
機械及び装置	3,083,028	3,072,231
減価償却累計額	△2,543,373	△2,607,417
機械及び装置 (純額)	539,654	464,814
車両運搬具	27,750,040	28,676,742
減価償却累計額	△21,616,586	△22,403,374
車両運搬具 (純額)	6,133,454	6,273,367
工具、器具及び備品	1,667,093	1,665,539
減価償却累計額	△1,404,735	△1,422,346
工具、器具及び備品 (純額)	262,357	243,193
土地	10,217,924	10,043,397
建設仮勘定	—	92
有形固定資産合計	22,298,744	21,812,910
無形固定資産	147,003	118,441
投資その他の資産		
投資有価証券	3,817,774	4,289,089
長期貸付金	33,275	35,118
長期前払費用	44,058	24,365
繰延税金資産	403,784	202,444
その他	313,684	302,743
貸倒引当金	△23,930	△23,478
投資その他の資産合計	4,588,647	4,830,282
固定資産合計	27,034,395	26,761,635
資産合計	41,135,118	41,365,287

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,822,397	2,142,428
未払費用	453,415	445,637
未払消費税等	324,922	345,250
未払法人税等	181,233	247,046
前受金	520,719	522,582
賞与引当金	233,818	234,562
完成工事補償引当金	2,509	2,199
工事損失引当金	4,741	1,775
設備関係支払手形	1,356,740	910,360
設備関係未払金	371,465	622,582
その他	1,191,043	775,722
流動負債合計	6,463,007	6,250,148
固定負債		
繰延税金負債	153,736	233,244
退職給付に係る負債	3,185,028	2,918,953
役員退職慰労引当金	328,606	340,604
その他	561,706	561,068
固定負債合計	4,229,078	4,053,871
負債合計	10,692,085	10,304,019
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,100,000	2,100,000
資本剰余金	759,341	759,341
利益剰余金	28,197,188	28,272,309
自己株式	△1,215,819	△1,216,445
株主資本合計	29,840,710	29,915,205
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	739,177	1,129,126
退職給付に係る調整累計額	△504,170	△376,726
その他の包括利益累計額合計	235,007	752,399
非支配株主持分	367,315	393,662
純資産合計	30,443,033	31,061,267
負債純資産合計	41,135,118	41,365,287

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
売上高		
旅客自動車運送事業営業収益	21,571,395	21,444,924
完成工事高	10,458,383	10,052,314
その他の事業収益	6,741,988	6,597,579
売上高合計	38,771,767	38,094,818
売上原価		
旅客自動車運送事業営業費	18,209,699	18,055,611
完成工事原価	9,482,675	8,858,411
その他の事業売上原価	6,925,956	6,954,099
売上原価合計	34,618,332	33,868,121
売上総利益	4,153,434	4,226,696
販売費及び一般管理費	3,131,531	3,181,989
営業利益	1,021,902	1,044,706
営業外収益		
受取利息	14,211	14,168
受取配当金	94,192	102,537
持分法による投資利益	20,337	21,477
その他	47,894	34,508
営業外収益合計	176,634	172,691
営業外費用		
支払利息	716	459
支払手数料	848	1,512
貸倒損失	350	—
その他	255	60
営業外費用合計	2,169	2,032
経常利益	1,196,367	1,215,365
特別利益		
固定資産売却益	29,825	72,279
補助金収入	270,170	172,280
その他	5,381	8,161
特別利益合計	305,377	252,721
特別損失		
固定資産除売却損	29,457	49,998
固定資産圧縮損	263,810	165,967
減損損失	594,546	254,509
投資有価証券評価損	—	361,815
その他	175	3,747
特別損失合計	887,989	836,037
税金等調整前当期純利益	613,756	632,049
法人税、住民税及び事業税	434,242	340,286
法人税等調整額	△8,103	44,460
法人税等合計	426,139	384,747
当期純利益	187,617	247,302
非支配株主に帰属する当期純利益	29,432	27,227
親会社株主に帰属する当期純利益	158,184	220,075

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
当期純利益	187,617	247,302
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△227,594	403,378
退職給付に係る調整額	60,161	127,443
持分法適用会社に対する持分相当額	△5,488	△13,209
その他の包括利益合計	△172,921	517,611
包括利益	14,695	764,914
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	△14,572	737,467
非支配株主に係る包括利益	29,267	27,446

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	2,100,000	759,341	28,212,964	△1,214,547	29,857,759
当期変動額					
剰余金の配当			△173,961		△173,961
親会社株主に帰属する当期純利益			158,184		158,184
自己株式の取得				△1,272	△1,272
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	△15,776	△1,272	△17,048
当期末残高	2,100,000	759,341	28,197,188	△1,215,819	29,840,710

	その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	972,096	△564,332	407,764	338,848	30,604,371
当期変動額					
剰余金の配当					△173,961
親会社株主に帰属する当期純利益					158,184
自己株式の取得					△1,272
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△232,918	60,161	△172,756	28,467	△144,289
当期変動額合計	△232,918	60,161	△172,756	28,467	△161,338
当期末残高	739,177	△504,170	235,007	367,315	30,443,033

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	2,100,000	759,341	28,197,188	△1,215,819	29,840,710
当期変動額					
剰余金の配当			△144,953		△144,953
親会社株主に帰属する当期純利益			220,075		220,075
自己株式の取得				△625	△625
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	75,121	△625	74,495
当期末残高	2,100,000	759,341	28,272,309	△1,216,445	29,915,205

	その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	739,177	△504,170	235,007	367,315	30,443,033
当期変動額					
剰余金の配当					△144,953
親会社株主に帰属する当期純利益					220,075
自己株式の取得					△625
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	389,948	127,443	517,392	26,346	543,738
当期変動額合計	389,948	127,443	517,392	26,346	618,234
当期末残高	1,129,126	△376,726	752,399	393,662	31,061,267

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	613,756	632,049
減価償却費	2,422,010	2,475,999
減損損失	594,546	254,509
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△1,201	5,805
賞与引当金の増減額 (△は減少)	6,355	743
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△24,719	△82,703
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△18,589	11,997
受取利息及び受取配当金	△108,403	△116,705
支払利息	716	459
持分法による投資損益 (△は益)	△20,337	△21,477
固定資産除却損	28,439	23,863
固定資産売却損益 (△は益)	△28,808	△46,144
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	361,815
補助金収入	△270,170	△172,280
固定資産圧縮損	263,810	165,967
売上債権の増減額 (△は増加)	△317,106	380,755
たな卸資産の増減額 (△は増加)	15,487	7,340
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	10,852	11,768
仕入債務の増減額 (△は減少)	△462,171	319,741
未払費用の増減額 (△は減少)	△17,184	△7,782
未払消費税等の増減額 (△は減少)	102,884	20,328
前受金の増減額 (△は減少)	△5,768	1,863
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△12,016	△412,193
その他	7,783	17,566
小計	2,780,166	3,833,287
利息及び配当金の受取額	108,487	116,287
利息の支払額	△714	△455
法人税等の支払額	△533,791	△320,651
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,354,146	3,628,467
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△430,777	△577,180
定期預金の払戻による収入	498,973	426,576
有価証券の取得による支出	△100,000	—
有価証券の償還による収入	—	100,000
有形固定資産の取得による支出	△2,466,888	△2,568,789
有形固定資産の売却による収入	50,854	131,615
無形固定資産の取得による支出	△5,587	△115,497
固定資産取得のための補助金収入	20,775	268,552
投資有価証券の取得による支出	△91,287	△421,266
投資有価証券の売却及び償還による収入	251,286	580,634
貸付けによる支出	△11,044	△9,446
貸付金の回収による収入	5,012	4,640
その他	4,103	△4,766
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,274,579	△2,184,928

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△1,272	△625
配当金の支払額	△173,961	△144,953
非支配株主への配当金の支払額	△800	△1,100
財務活動によるキャッシュ・フロー	△176,033	△146,679
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△96,466	1,296,859
現金及び現金同等物の期首残高	8,478,373	8,381,907
現金及び現金同等物の期末残高	8,381,907	9,678,767

## (5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

## (セグメント情報)

## 1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、当社の取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、乗合旅客自動車運送事業をはじめとする旅客自動車運送事業を基軸に、建設、清掃・警備、不動産、観光など地域に密着した様々な事業を積極的に展開しております。

したがって、当社グループは、事業内容を基礎とした事業の種類別セグメントから構成されており、「旅客自動車運送事業」、「建設業」、「清掃業・警備業」、「不動産事業」、「観光事業」及び「その他の事業」の6つを報告セグメントとしております。

報告セグメントにおける各事業区分の事業内容は、次のとおりであります。

- (1) 旅客自動車運送事業……乗合旅客自動車運送事業、貸切旅客自動車運送事業
- (2) 建設業……土木建築工事の請負及び設計監理
- (3) 清掃業・警備業……建物施設総合管理、警備保障
- (4) 不動産事業……土地建物の賃貸、販売及び売買の仲介
- (5) 観光事業……スキー場、ホテル業、観光施設業
- (6) その他の事業……飲食業、公衆浴場業、介護福祉事業、物品販売業、自動車教習所、サービス業（乗車券発売）、情報記録物製造業、旅行業

## 2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成のために採用している会計処理の方法と同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額に関する情報  
当連結会計年度（自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）

(単位：千円)

	報告セグメント							調整額 (注1)	連結財務 諸表計上額 (注2)
	旅客自動車 運送事業	建設業	清掃業・ 警備業	不動産事業	観光事業	その他の 事業	合計		
売上高									
外部顧客に対する売上高	21,444,924	10,052,314	1,840,895	456,315	1,813,027	2,487,340	38,094,818	—	38,094,818
セグメント間の内部売上高又は振替高	80,853	255,015	1,276,869	334,167	13,563	1,235,589	3,196,059	△3,196,059	—
計	21,525,777	10,307,329	3,117,765	790,483	1,826,591	3,722,930	41,290,877	△3,196,059	38,094,818
セグメント利益又はセグメント損失(△)	302,053	317,603	150,938	350,758	△76,878	34,398	1,078,872	△34,165	1,044,706
セグメント資産	16,374,520	3,600,283	1,499,371	5,048,213	2,891,724	2,023,001	31,437,115	9,928,171	41,365,287
その他の項目									
減価償却費	2,103,329	32,492	28,827	118,303	191,440	43,211	2,517,605	△41,605	2,475,999
減損損失	128	183	—	96,116	169,626	469	266,524	△12,015	254,509
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	2,299,988	18,373	25,289	69,940	105,829	26,052	2,545,474	△76,138	2,469,336

(注) 1. 調整額は、以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。
- (2) セグメント資産の調整額は、セグメント間取引消去及び各報告セグメントに帰属しない全社資産であります。
- (3) 減価償却費、減損損失の調整額は、未実現損益の調整額であります。
- (4) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、未実現損益の調整額であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## (1株当たり情報)

当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	
1株当たり純資産額	11,716.59円
1株当たり当期純利益	84.08円
なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載していません。	

## (注) 算定上の基礎

## 1. 1株当たり純資産額

項目	当連結会計年度末 (2020年3月31日)
連結貸借対照表の純資産の部の合計額(千円)	31,061,267
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	393,662
(うち非支配株主持分(千円))	(393,662)
普通株式に係る純資産額(千円)	30,667,604
普通株式の発行済株式数(株)	3,146,000
普通株式の自己株式数(株)	528,549
1株当たり純資産額の算定に用いられた普通株式の数(株)	2,617,451

## 2. 1株当たり当期純利益

項目	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	220,075
普通株主に帰属しない金額(千円)	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	220,075
普通株式の期中平均株式数(株)	2,617,536

## (重要な後発事象)

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

記載すべき事項は、ありません。